



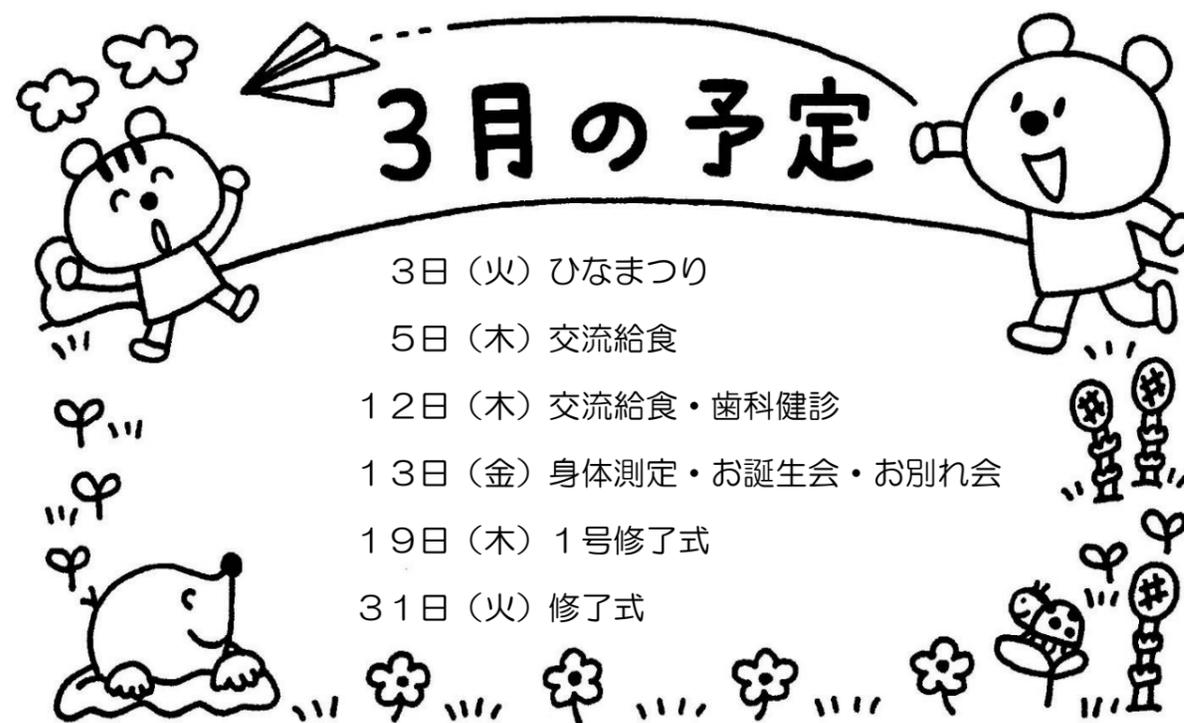
まだまだ寒い日が続きますが、子どもたちの元気な声と笑い声に溢れ、不思議と寒さを忘れてしまいます。感染症などが流行する時期ですが、手洗い消毒を徹底していきながら、冬の遊びや楽しみを見つけ、今月も元気に過ごしたいと思います。



園庭で雪遊びをしました。友達と雪合戦をしたり、雪の上で寝転んだり、友達と仲良くなまくらに入ったりと、雪遊びを思う存分楽しんでいました。雪合戦では、顔に雪が当たってしまっても、「負けないぞ〜！」と必死に戦ったり、かまくらが出来上がると、「〇〇くんと一緒にかまくら入る！」と微笑ましい光景が見られたりと、とても可愛かったです。また、大きな氷柱を見つけて触ると、冷たさを感じたり、嬉しそうに持ち歩いたり氷柱の感触も味わうことができ、満足気な子どもたちでした。今年も、雪遊びで様々な体験ができ、とても良かったです。

ドキドキの豆まきがありました。豆まきの数日前から「今日、鬼来る日？」と不安な様子もありましたが、毎日豆まきの歌を口ずさんだり、ノリノリで鬼のパンツを踊ったりする姿がありました。当日はテラスで豆まきだったので、初めての経験に顔が強張っていた子、テラスの隅に隠れていた子、鬼の声が聞こえた瞬間涙が出てしまった子などがいましたが、鬼から逃げながらも頑張って豆を投げ、逞しい子どもたちでした。豆まきを通して、また1つ大きく成長した姿を見せてくれました。

進級まで、残り1か月となりました。進級に向けて、子どもたちにも「もうすぐ、こあら組のお兄さん・お姉さんになるんだよ」と日々の生活の中で少しずつ伝えていきます。伝えていく中で、子どもたち自身も少しずつ進級を意識し、頑張っている様子が見られてきました。例えば、スプーンの持ち方を上向きで持つよう友達間で「こうだよ」と教え合ったり、保育教諭に「こう？」と確認をしたりする姿も増えました。また、スプーンの使い方が更に上手になったり、お皿を持って食べようとしたりする中で、食べこぼしも減ってきました。他にも、服やシャツの向きを気にして、正しく着ようと保育教諭に確認することも増えました。1人が確認していると、周りにいた友達も意識するようになり、みんなで確認し合う姿が増え、とても良い関係性が築けているように思います。1つずつ大きくなることにより、自立し自分で挑戦しなければいけない時が増える中、まだまだ甘えたい年齢でもあるので、毎日葛藤もありますが、子どもたちの諦めない、やってみるという前向きな気持ちを高め合いながら、共に過ごしていきたいと思っています。



3日(火) ひなまつり

5日(木) 交流給食

12日(木) 交流給食・歯科健診

13日(金) 身体測定・お誕生会・お別れ会

19日(木) 1号修了式

31日(火) 修了式